

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	構造連成小委員会	主 査 名：登坂宣好 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型空間構造物の流体および地盤との連成系に対して、構造物の性能評価および問題点を探り、その解決策を示す。 ・個々の連成問題に関する構造物の性能評価の問題点を抽出し、その検討を行う。 ・建築工学関連の連成問題に関する内容の出版物が可能か否かの議論を行う。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	登坂宣好(日大) 西村敏雄(日大名誉教授) 松井徹哉(名城大), 皆川洋一(鹿児島大) 福住忠裕(神戸大) 神園勝彦(日大) 濱本卓司(武蔵工大) 遠藤龍司(職能大) 大嶋昌巳(千代田アドバンスドソリューションズ) 高野真一郎(大林組) 近藤典夫(日大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幾つかの流体 構造連成系に対し構造物の振動現象や応力性状、周りの流体運動等が示され、それらの現象を把握し、その現象の解明に努めた。 2. 連成問題における構造物の性能評価・安全性および解析手法の検討を行った。 3. 建築工学関連の連成問題に関する出版物の検討(内容や目次等)を開始した。 4. 連成問題の現状の研究成果について概ね議論がなされ、また成果出版物の検討を行うことも出来満足のいく内容であった。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議論が数値計算手法と計算結果による現象論に留まり、実構造物による現象との対比がまだ不十分なままであるので、実現象に関する資料の収集を含めた調査研究成果のまとめが必要になってきた。